

お客様の「あったらいいな」を超えて、
日常の未来を生みだし続ける。

2024年3月期第2四半期

決算説明資料

Financial Results for Second Quarter of Fiscal Year 2023

TODAY'S AGENDA

AGENDA

01

2024年3月期
第2四半期決算

AGENDA

02

事業別主要計数・
トピックス

AGENDA

03

2024年3月期
業績予想修正

AGENDA

04

上期の振り返りと
中期経営計画の進捗

AGENDA

05

APPENDIX

AGENDA

01

2024年3月期
第2四半期決算

2024年3月期第2四半期決算のポイント



業績概況

連結・単体ともに増収増益、
利益は計画比大きく上振れ



国内ATM事業

上期の利用件数は好調も、
足元の前年比プラス幅は縮小



国内リテール事業

口座数、ローン残高は
順調に増加



海外事業

米国は引き続き厳しい状況、
アジアはフィリピンが好調

2024年3月期第2四半期決算
損益状況【連結】

経常収益

セブン・カードサービスの
連結子会社化の影響および
セブン銀行単体の好調を主因に増収

経常利益

費用は前年比で増加も、
収益の伸びでカバーし増益

純利益

負ののれん発生による特別利益
215億円の影響で大幅増益

注1) 増減に係るコメント及び数値は全て前年同期比
注2) 本資料における計数は全て表示単位未満切捨て
注3) 本資料における前年差異及び前年比は全て表示単位で比較
注4) 連結損益の為替レート
1米ドル: 2023年3月期上期実績 = 123.14円
2024年3月期上期実績 = 135.00円
2024年3月期計画 = 140.00円
注5) 本資料におけるEBITDAは全て経常利益 + 減価償却費

経常収益

922 億円

前年度
上期 738 億円

前年比 +24.9%

計画比 +4.1%

経常利益

164 億円

前年度
上期 145 億円

前年比 +13.1%

計画比 +36.6%

経常費用

758 億円

前年度
上期 593 億円

前年比 +27.8%

計画比 ▲0.9%

親会社株主に帰属する 中間純利益

326 億円

前年度
上期 97 億円

前年比 +236.0%

計画比 +11.2%

EBITDA

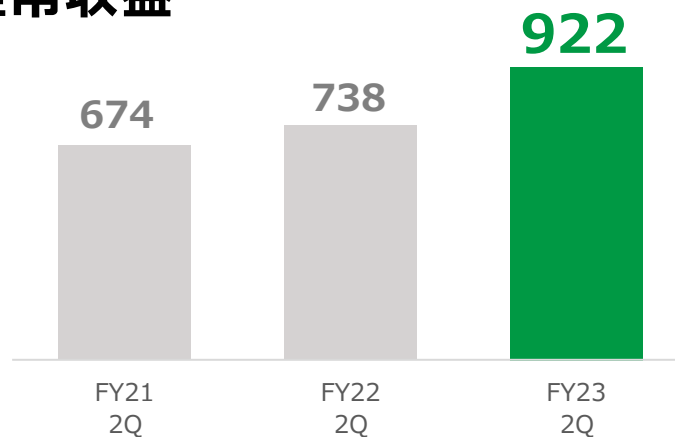
273 億円

前年度
上期 238 億円

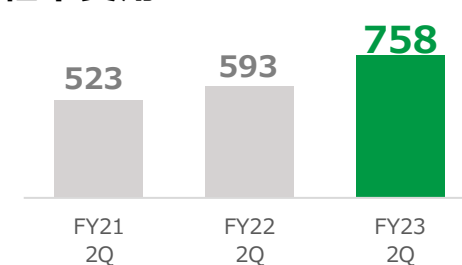
前年比 +14.7%

2024年3月期第2四半期決算
業績推移【連結】

経常収益

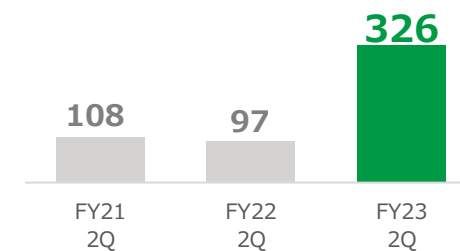


経常費用

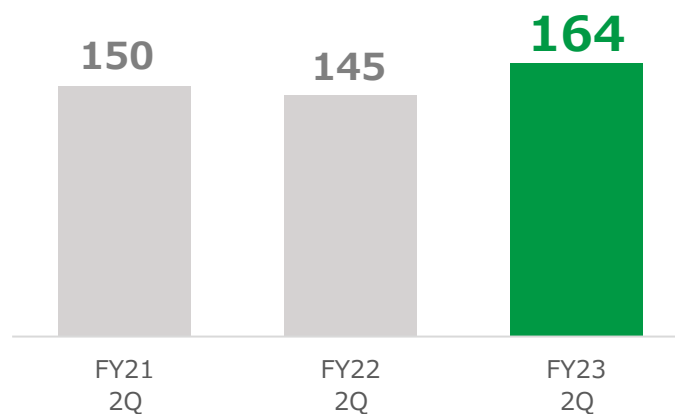


(単位：億円)

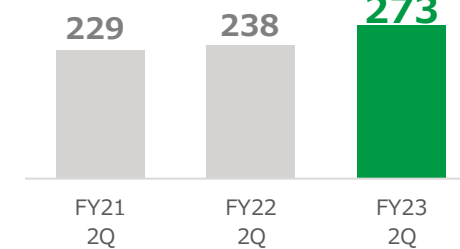
親会社株主に帰属する 中間純利益



経常利益



EBITDA



注) 本資料における計数は全て表示単位未満切捨て

2024年3月期第2四半期決算
損益状況【セブン銀行単体】

経常収益

国内ATM事業の好調を主因に増収

経常利益

費用の伸びを収益がカバーし、
増益で着地

- 注1) 増減に係るコメント及び数値は全て前年同期比
注2) 本資料における計数は全て表示単位未満切捨て
注3) 本資料における前年差異及び前年比は全て表示単位で比較
注4) 本資料におけるEBITDAは全て経常利益+減価償却費

経常収益

640 億円

前年度
上期 586 億円

前年比 +9.2%

計画比 +5.7%

経常利益

169 億円

前年度
上期 152 億円

前年比 +11.1%

計画比 +25.1%

経常費用

471 億円

前年度
上期 433 億円

前年比 +8.7%

計画比 +0.2%

中間純利益

114 億円

前年度
上期 100 億円

前年比 +14.0%

計画比 +20.0%

EBITDA

258 億円

前年度
上期 234 億円

前年比 +10.2%

計画比 +11.2%

AGENDA

02

事業別主要計数・
トピックス

国内事業(ATM)

国内事業(ATM)

主要計数

ATM利用件数の推移

上期総利用件数

515百万件
(+36百万件)

上期平均利用件数

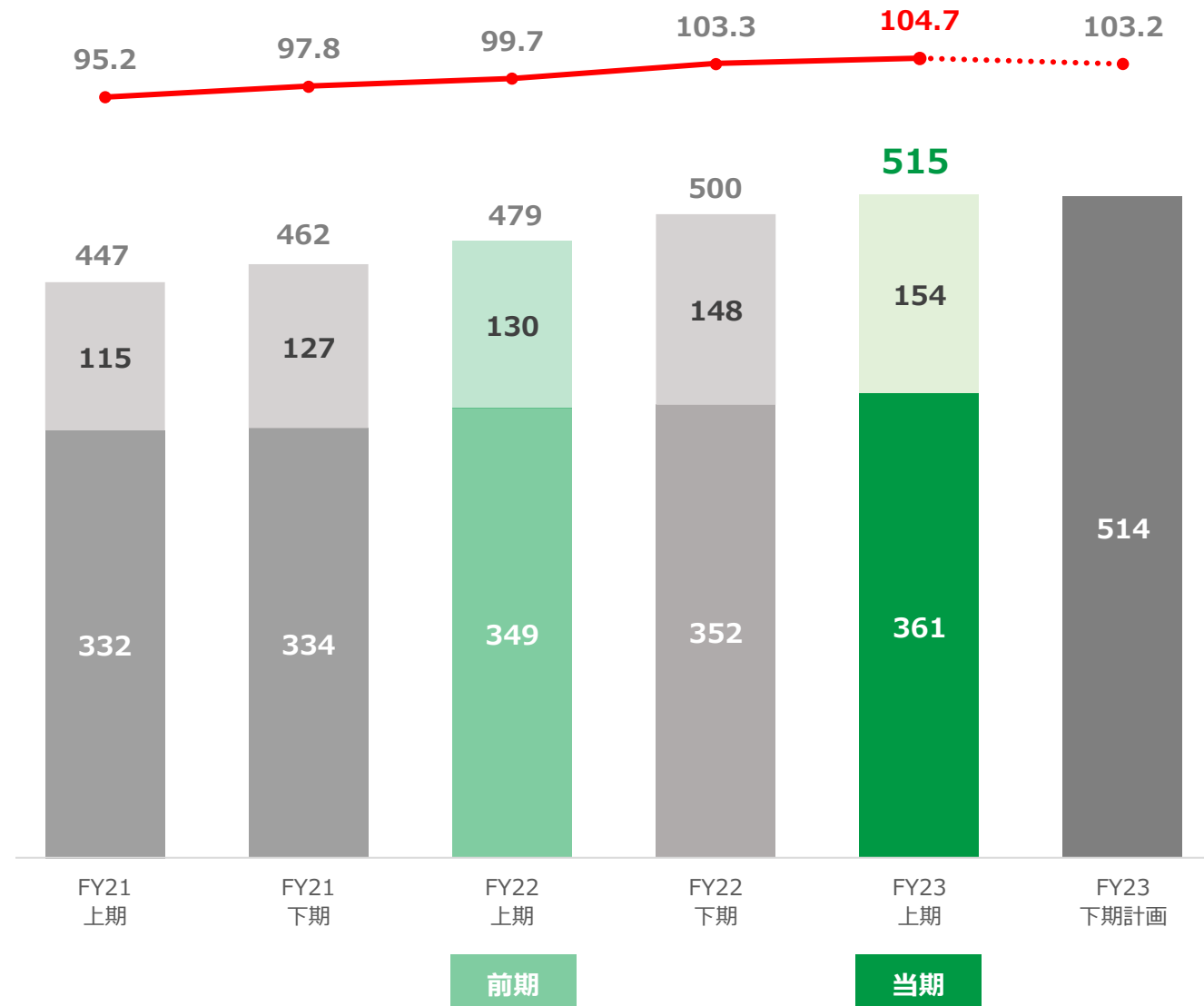
104.7件
(+5.0件)

- 注1) 増減に係るコメント及び数値は全て前年同期比
注2) ATM総利用件数、平均利用件数には残高照会、電子マネーチャージ、暗証番号変更、利用限度額変更等を含まず
注3) 本資料におけるノンバンク等は、証券会社、生命保険会社、クレジット会社、信販会社、消費者金融会社、コード決済事業会社等の合計
注4) FY23上期のATM受入手数料単価110.0円
※ ATM受入手数料単価は、
 $\text{ATM受入手数料} \div (\text{総利用件数} - \text{ATM受入手数料収入を伴わない利用件数} < \text{売上金入金等} >)$ で算出

平均利用件数
(件/日/台)

ノンバンク等
総利用件数
(百万件)

預貯金金融機関
総利用件数
(百万件)



国内事業(ATM)

主要計数

ATM期末台数の推移

ATM期末台数

27,099台

(+574台)

グループ内

23,334台 (+69台)

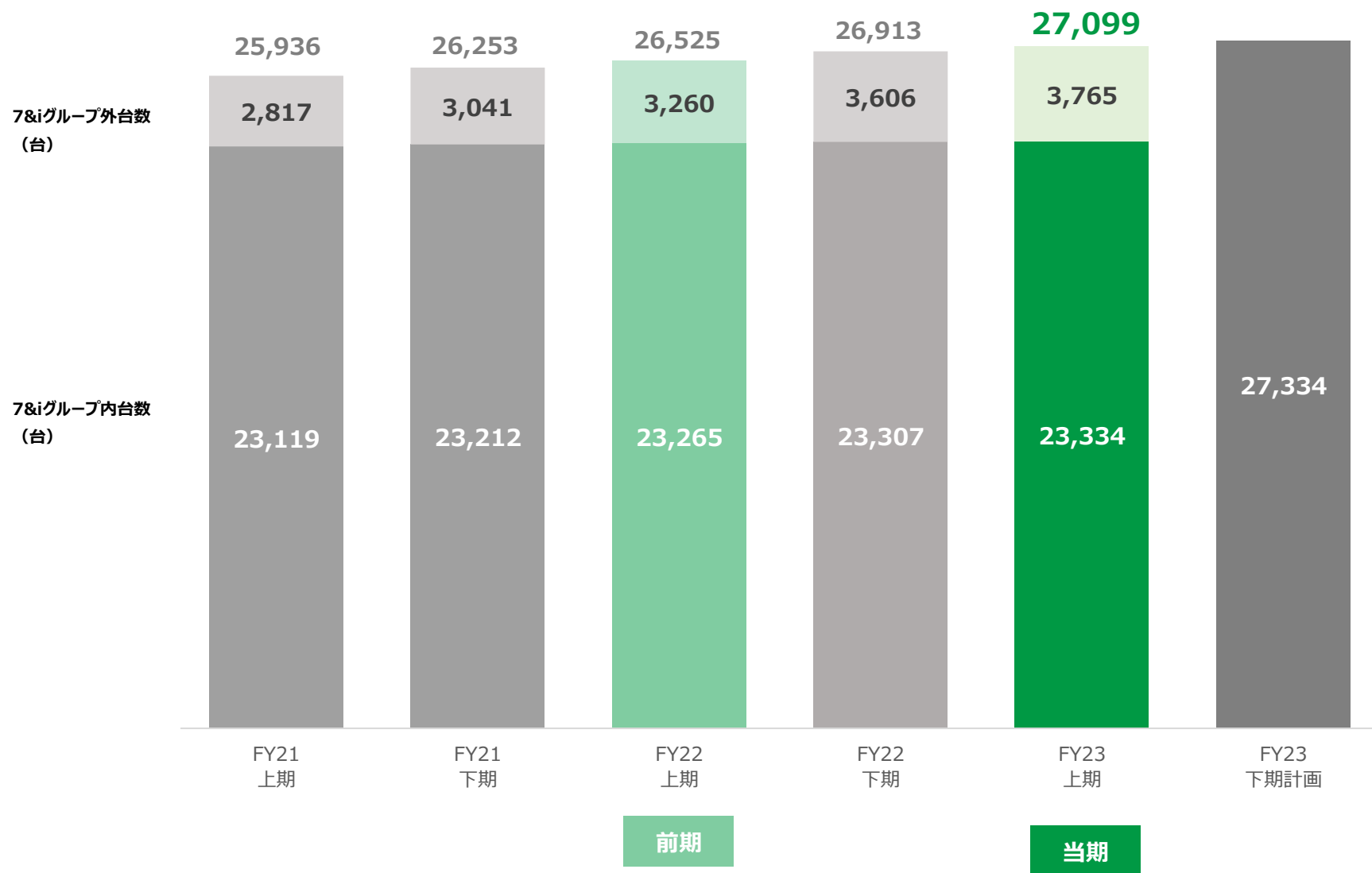
グループ外

3,765台 (+505台)

下期台数計画を見直し

27,334台

(期初計画比△264台)



注) 増減に係るコメント及び数値は全て前年同期比

国内事業(ATM)

主要計数

第4世代ATMへの 入替状況

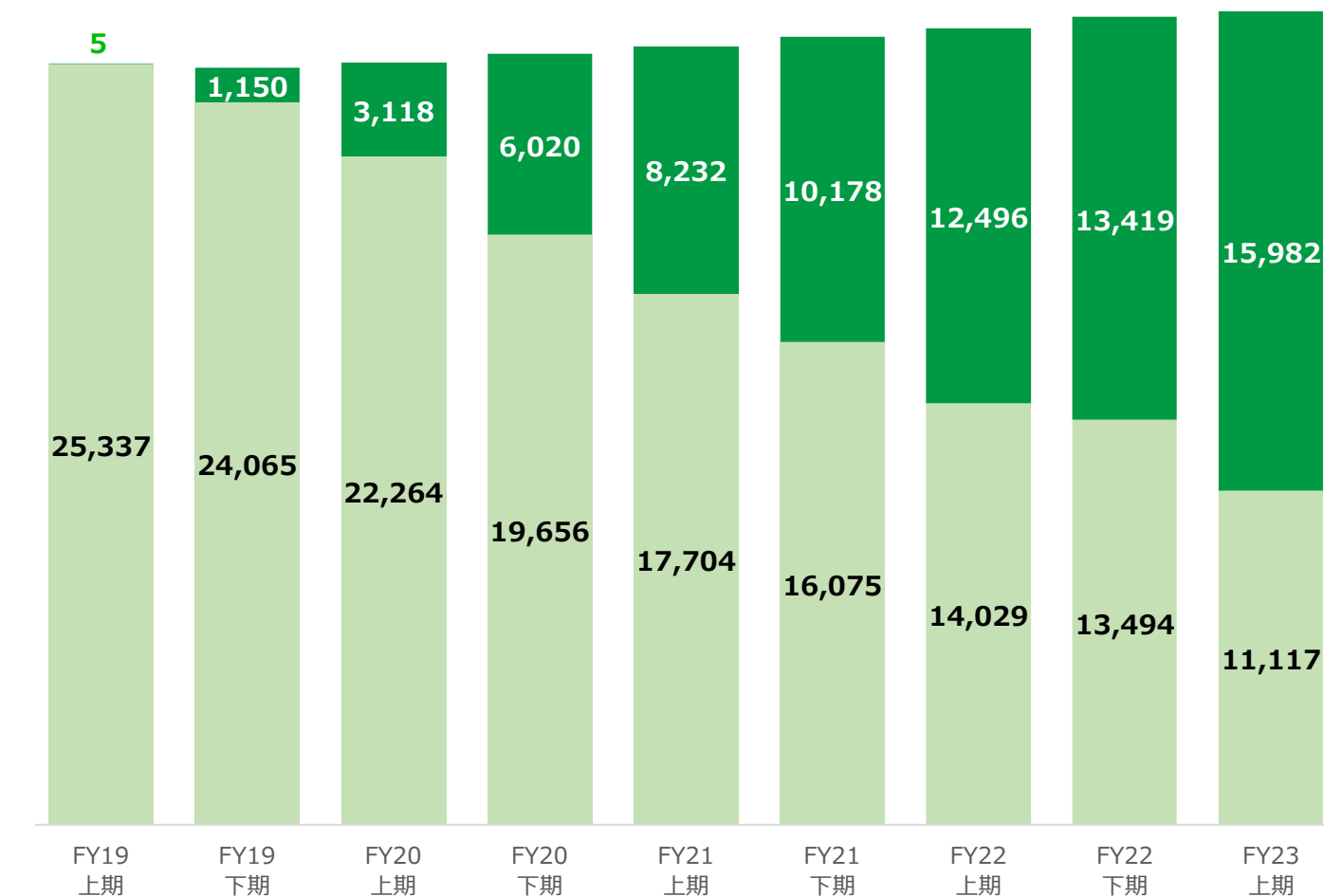
入替は順調に進展、
半数以上が第4世代ATMに
入替済み

2019年9月
デビュー

2020年11月
東京都設置完了

2022年上期
関東圏設置完了

2023年上期
半数超の入替完了



第4世代ATM

ATM+



第3世代ATM



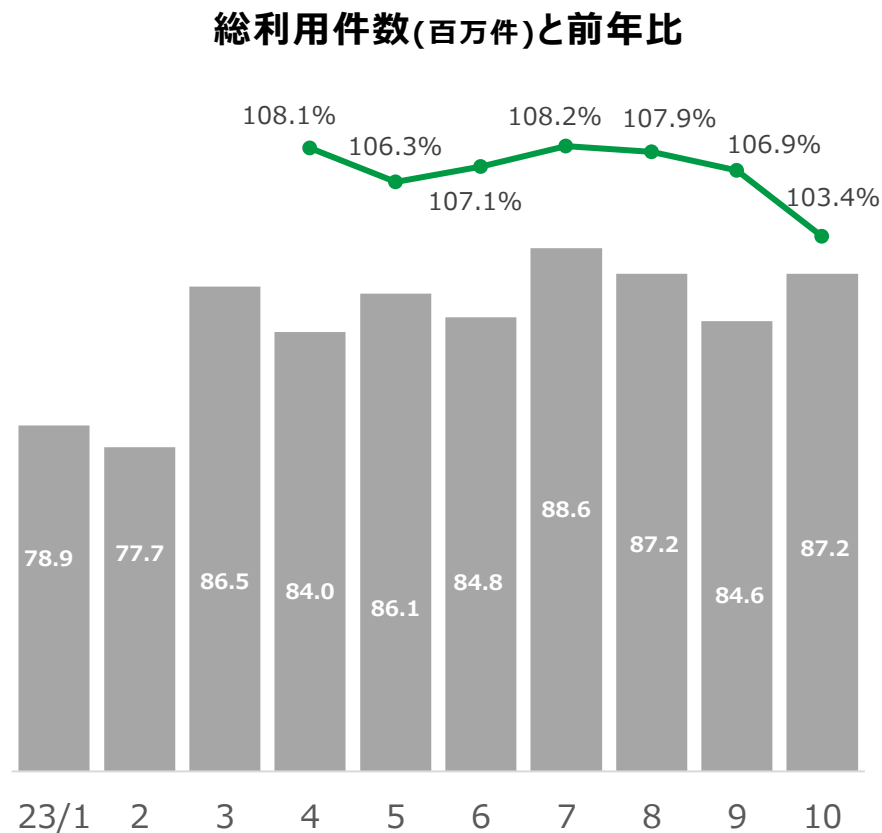
国内事業(ATM)

トピックス

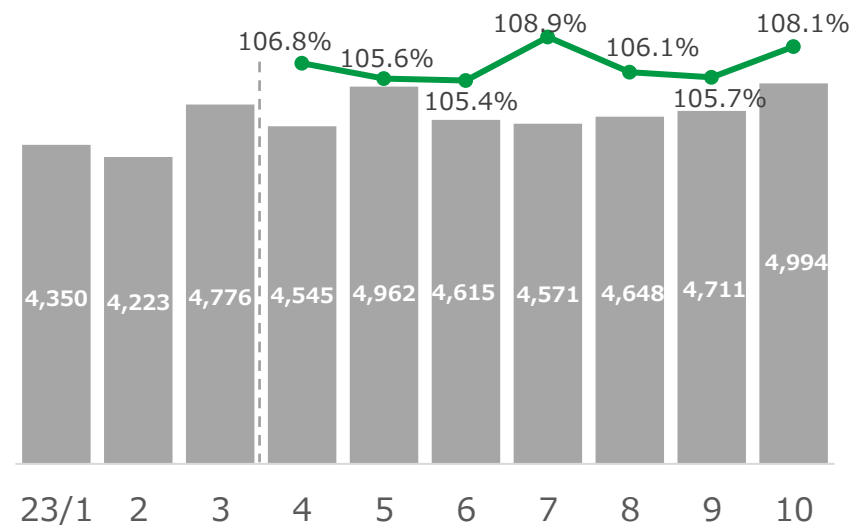
ATM利用件数は

上期を通じて好調も、

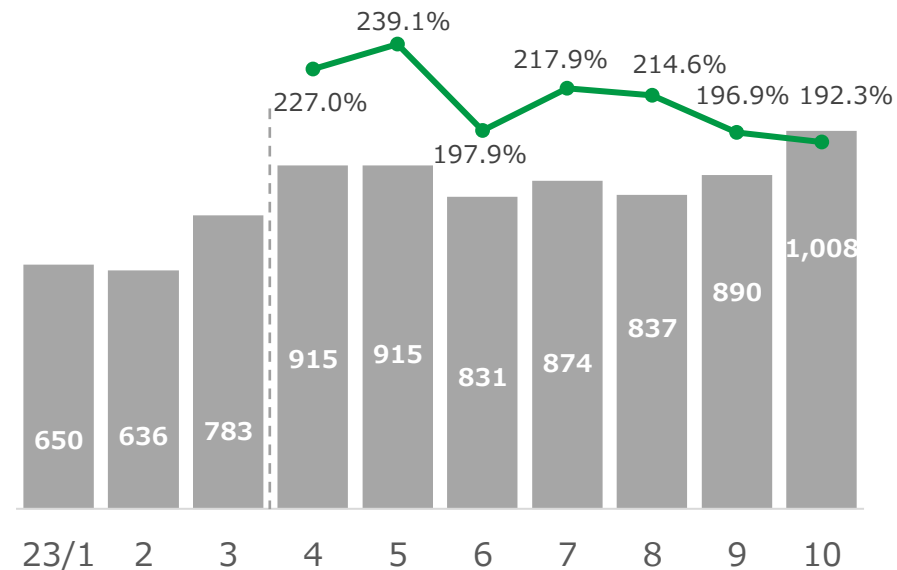
足元の前年比プラス幅は縮小



ノンバンクの利用件数(千件)と前年比



海外カード利用件数(千件)と前年比



注1) 増減に係るコメント及び数値は全て前年同期比

注2) ノンバンクは、銀行系、信販系、流通系その他のクレジット会社および消費者金融を指す

国内事業（リテール）

国内事業(リテール)

主要計数

口座数と預金残高の推移(個人)

口座数

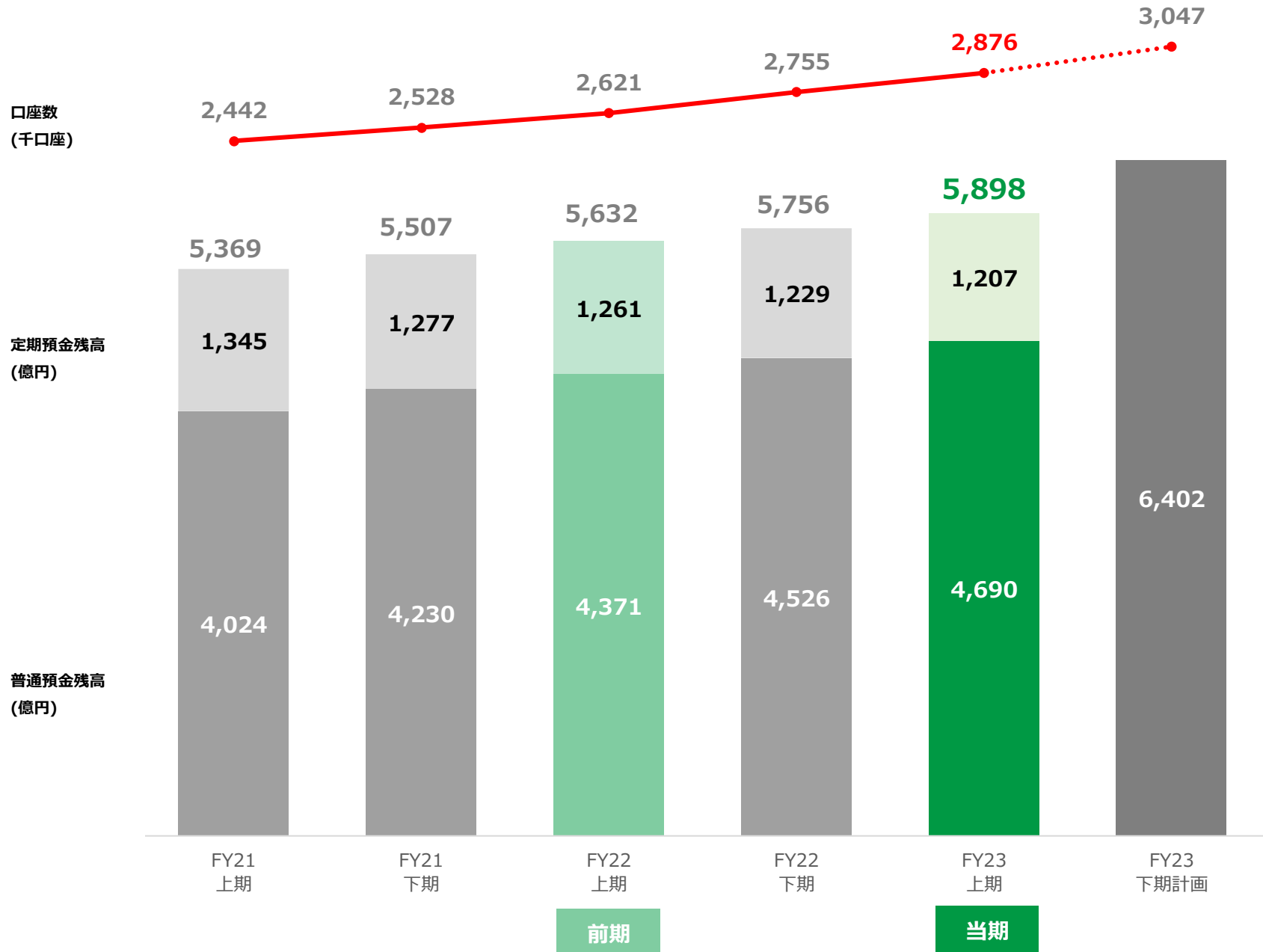
2,876千口座

(+255千口座)

預金残高

5,898億円

(+266億円)



注) 増減に係るコメント及び数値は全て前年同期比

国内事業(リテール)

主要計数

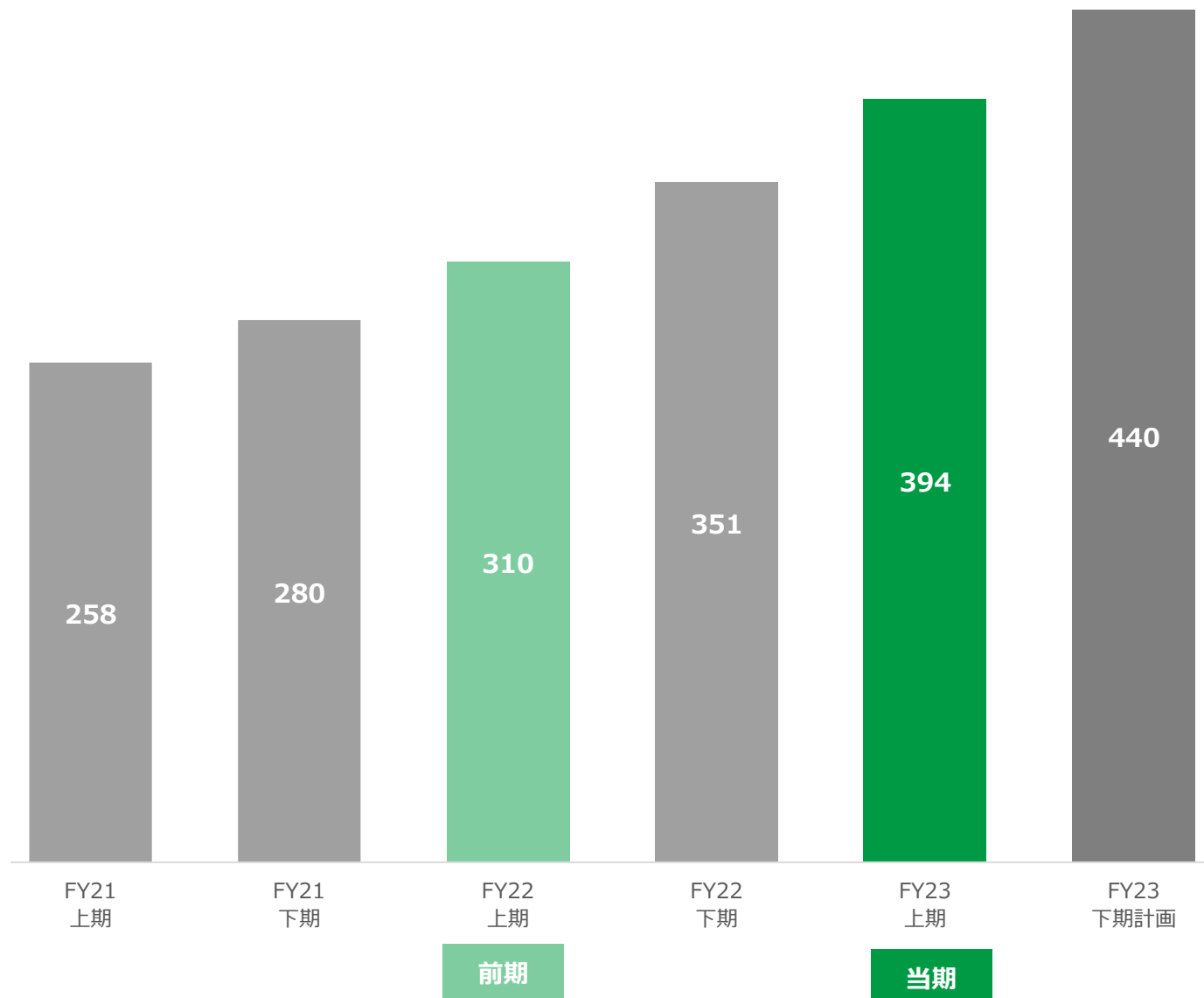
個人向けローンサービス

期末残高

394億円

(+84億円)

期末残高
(億円)



注1) 増減に係るコメント及び数値は全て前年同期比

注2) 期末残高には、Credd Finance提供サービスも含めております。

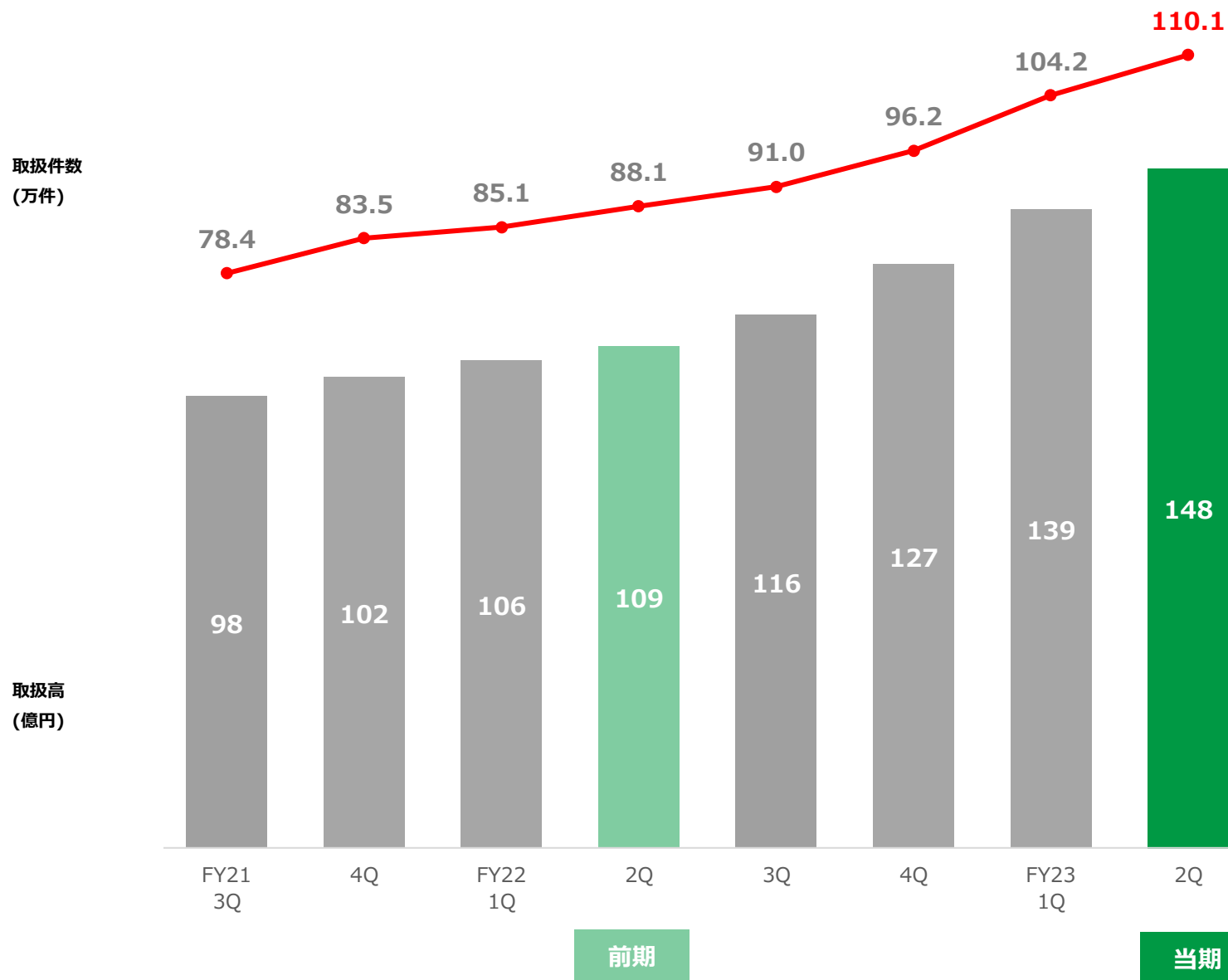
国内事業(リテール)
主要計数
セブン銀行
後払いサービス

取扱高

148億円
(+39億円)

取扱件数

110.1万件
(+22.0万件)



注) 増減に係るコメント及び数値は全て前年同期比

国内事業（子会社）

国内事業（子会社）

主要子会社の業績

〔各社単体・連結調整前〕

（単位：百万円）

	セブン・ カードサービス	バンク・ ビジネスファクトリー	セブン・ ペイメントサービス	その他
	【クレジット・電子マネー事業】	【事務受託事業】	【送金・決済事業】	【左記3社を除く国内子会社】
経常収益	8,284	1,664	314	859
（前年差）	(△9)	(+327)	(+71)	(+422)
経常利益	726	33	36	△197
（前年差）	(+27)	(+202)	(△2)	(+231)

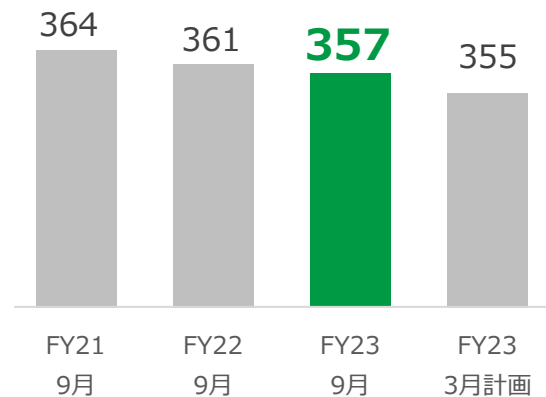
セブン・カードサービスを7月より**連結子会社化**

注1) 「その他」に含まれる会社は、セブン・グローバルレミット、ACSiON、Credd Finance、ビバピーダメディカルライフ

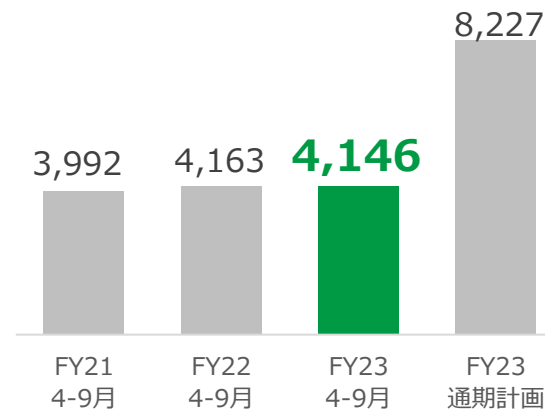
注2) セブン・カードサービスの業績は、当社連結子会社後の業績（2023年7月～9月分）を記載

セブン・カードサービス
主要KPI

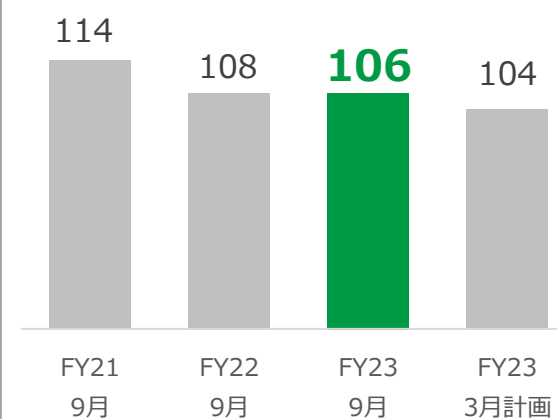
クレジットカード会員数 (万人)



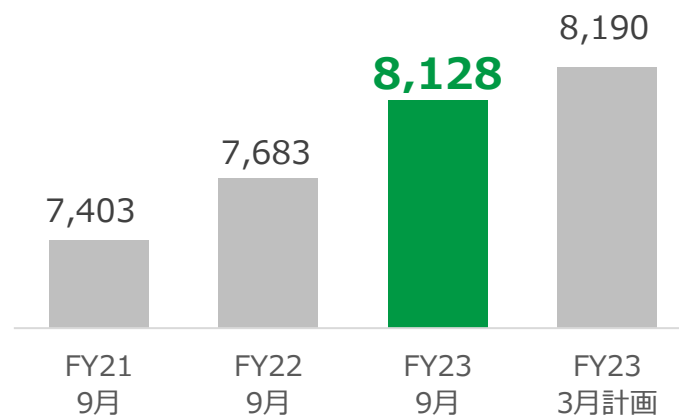
クレジットカード
ショッピング取扱高 (億円)



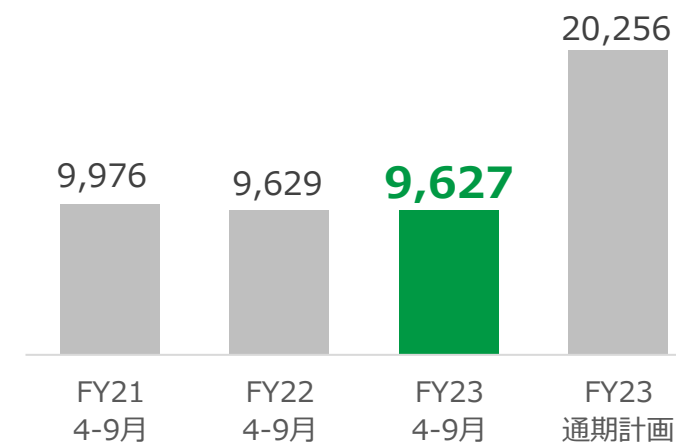
キャッシング残高 (億円)



電子マネー会員数 (万人)



電子マネー取扱高 (億円)



注1) 本資料における計数は全て表示単位未満切捨て
注2) FY23の通期計画は2023年4月～2024年3月を
基準とした数値

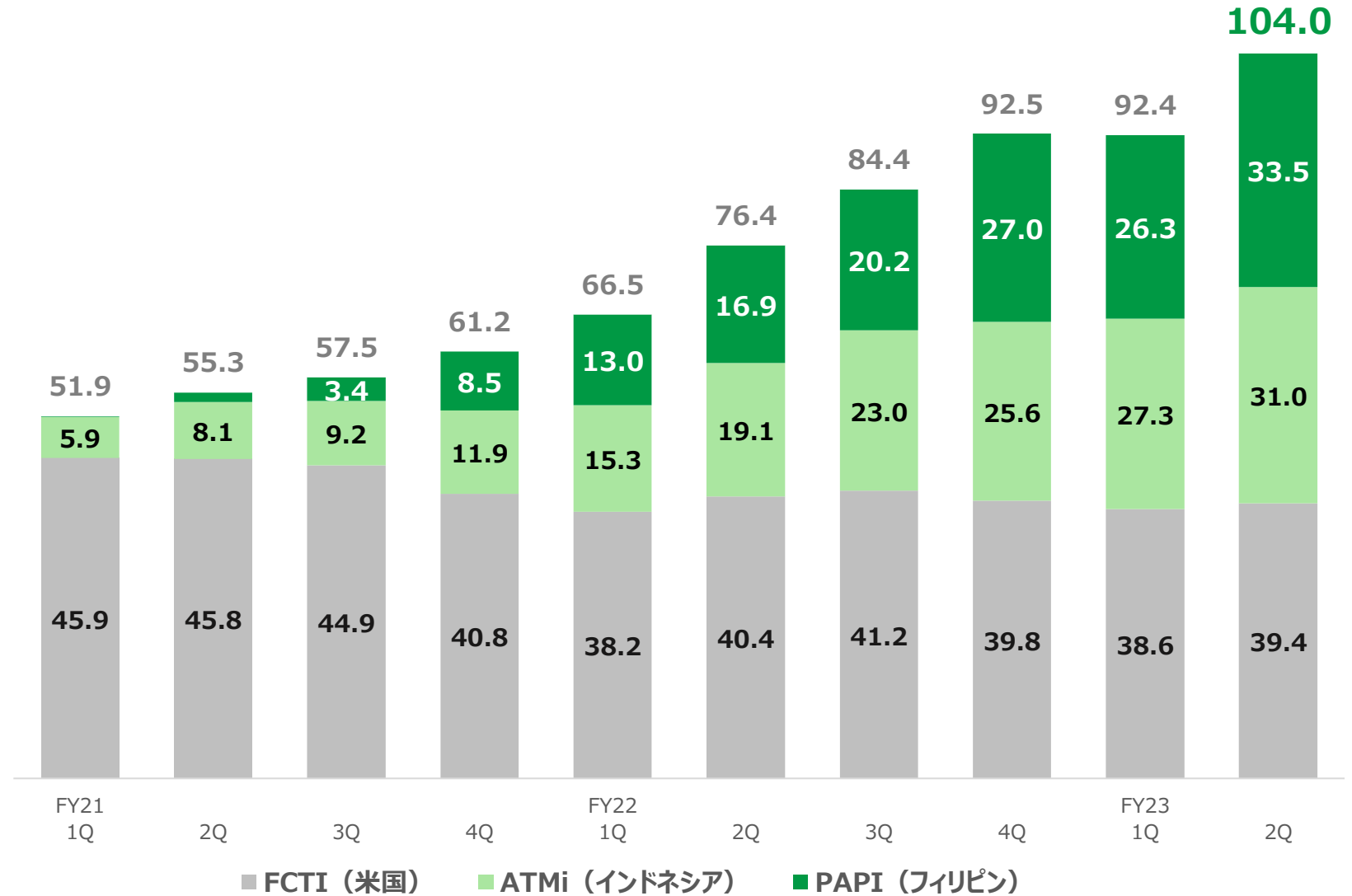
海外事業

海外事業

ATM総利用件数の推移

(単位：百万件)

米国はほぼ横ばいで推移、
アジアはフィリピンの利用件数が
好調に推移



注1) 米国、インドネシアのATM利用件数には残高照会を含む。

注2) フィリピンのATM利用件数には残高照会を含み、
売上金入金を除く。

注3) 1Q (1-3月)、2Q (4-6月)、3Q (7-9月)、
4Q (10月-12月)

海外事業

米国

金利は依然高止まり、

厳しい環境が続くが

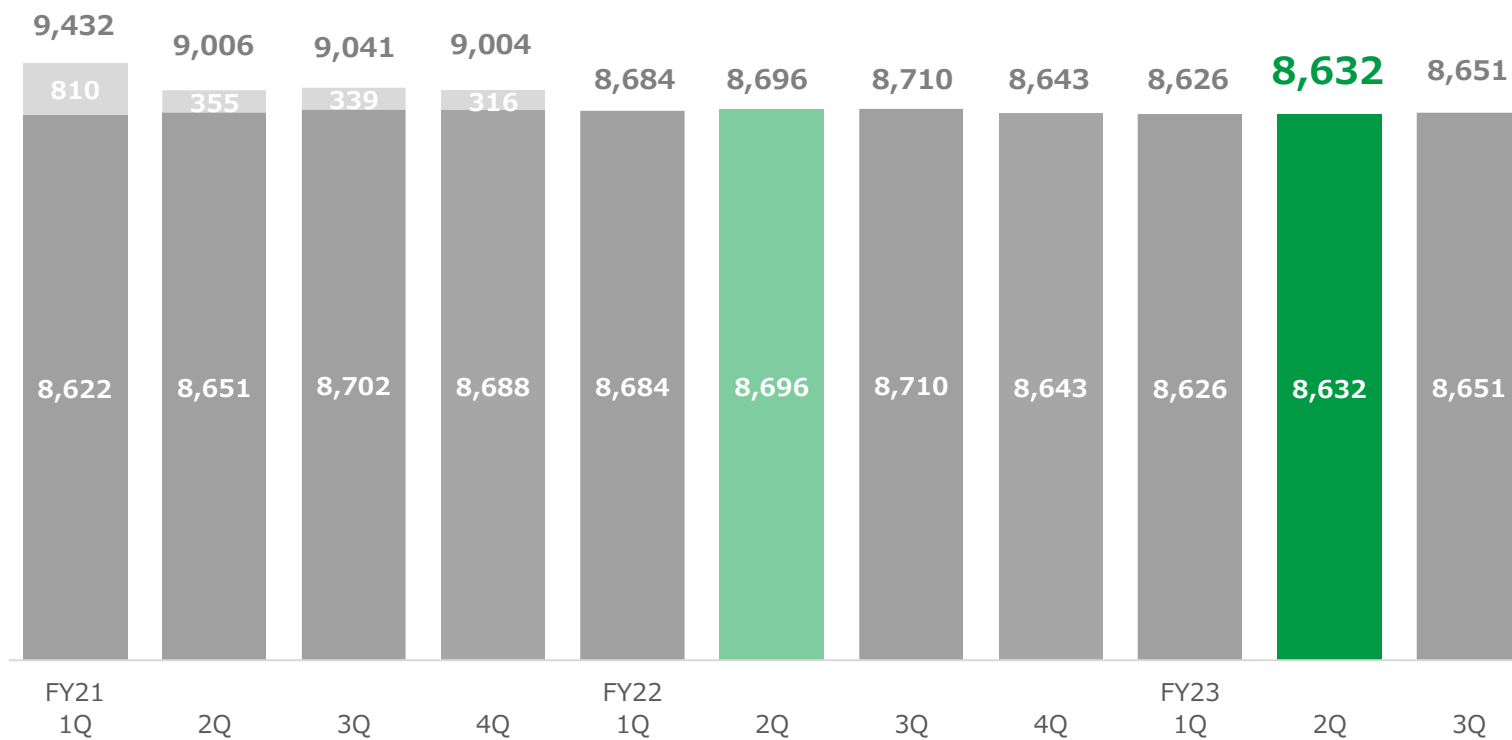
SEIとの契約更改に向け

交渉継続

SEI店舗内
設置ATM
平均利用件数
(件/日/台)



SEI店舗外
設置ATM
期末台数 (台)



SEI店舗内
設置ATM
期末台数 (台)

注1) 米国のATM利用件数には残高照会を含む。
 注2) 1Q (1-3月)、2Q (4-6月)、3Q (7-9月)、
 4Q (10月-12月)
 注3) FY23 3Qの数値は速報値

前期

当期

海外事業

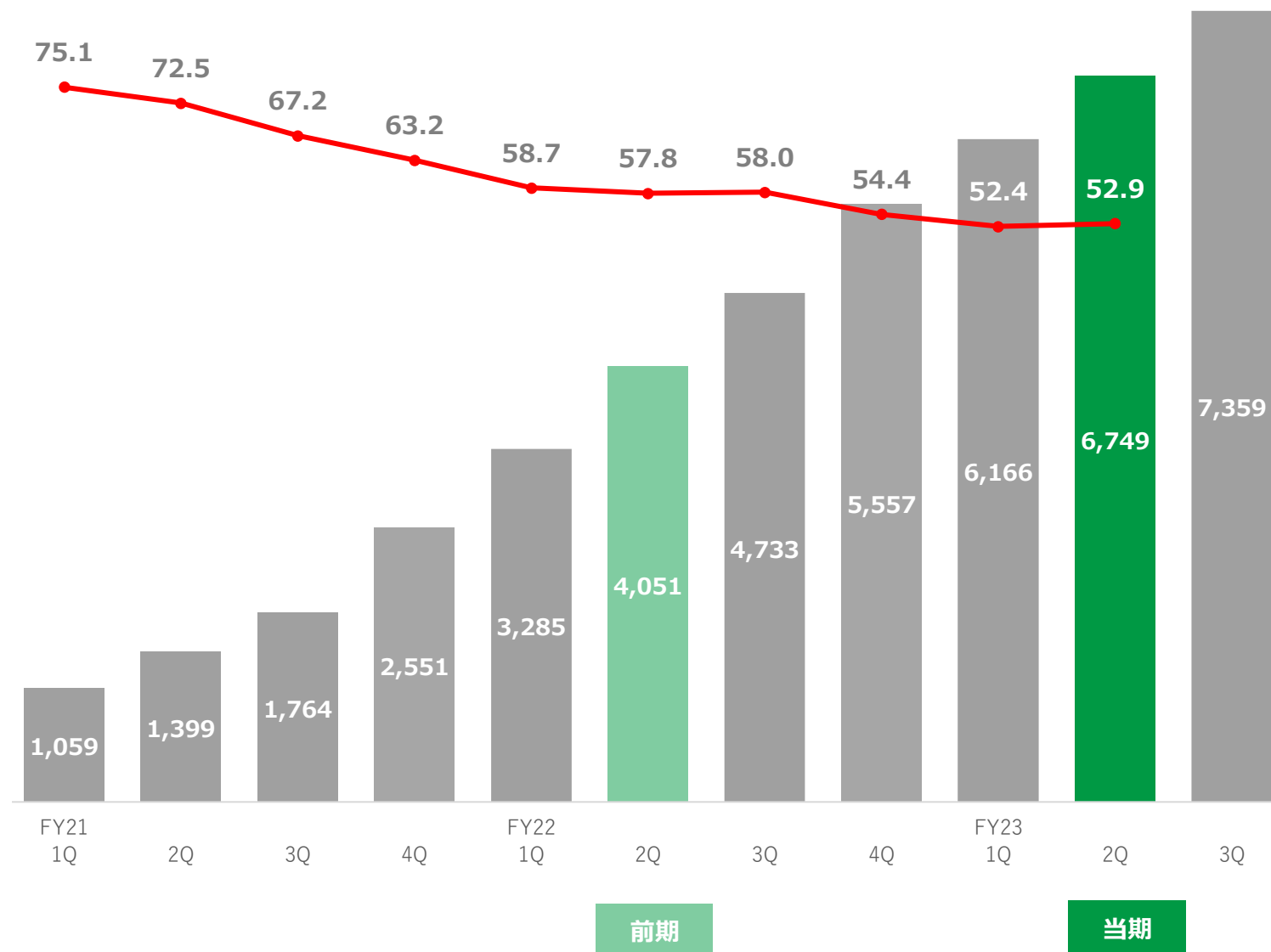
インドネシア

平均利用件数は下げ止まりの兆し、
引き続き利用促進策の実施により
件数向上を目指す

- 注1) インドネシアのATM利用件数には残高照会を含む。
注2) 1Q (1-3月)、2Q (4-6月)、3Q (7-9月)、
4Q (10月-12月)
注3) FY23 3Qの数値は速報値
注4) 台数の速報値は受託設置を除く。

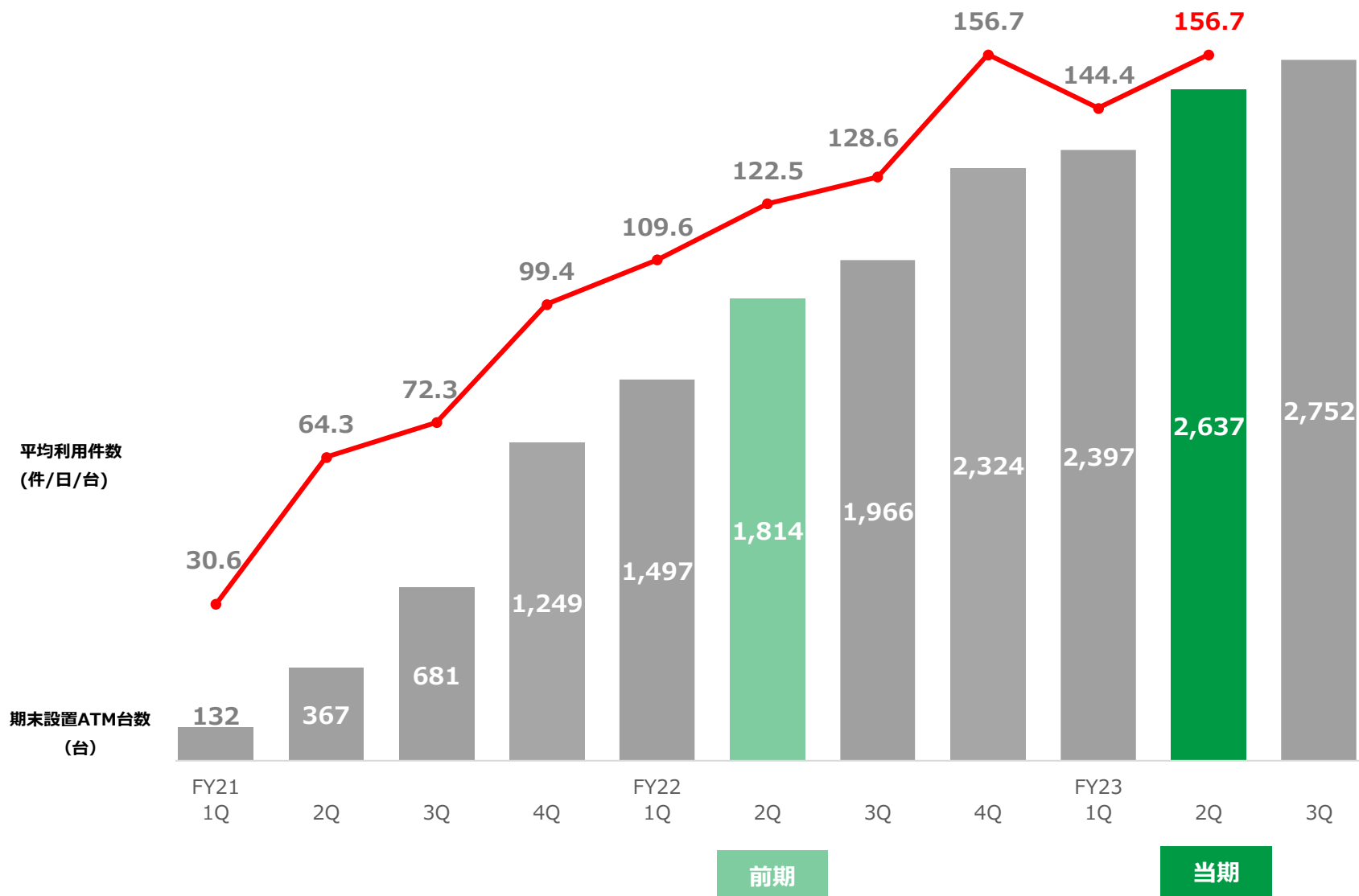
平均利用件数
(件/日/台)

期末設置ATM台数
(台)



海外事業 フィリピン

平均利用件数は回復、
単月黒字を達成



注1) フィリピンのATM利用件数には残高照会を含み、
売上金入金を除く。

注2) 1Q (1-3月)、2Q (4-6月)、3Q (7-9月)、
4Q (10月-12月)

注3) FY23 3Qの数値は速報値

トピックス

米国

SEIと契約更改に向け協議を継続

契約交渉状況

- 現行契約の期限は2024年7月
- 今回の契約更改によりSEI設置ATMに加え、Speedwayへの設置が可能に

実証実験中のモバイルローン等、新サービスも引き続き検討

インドネシア

キャンペーンを8月より開始、利用促進を図る

懸賞キャンペーン

ATM上部画面で告知し、利用件数の向上を狙う



利用件数不芳のATMの撤去も検討し、平均利用件数向上を目指す

フィリピン

利用件数は好調、7月より単月黒字達成

フィリピンでのATM設置状況

- フィリピンのセブン-イレブン店舗数は約3,500店(2023年6月末時点)今後も店舗数は増加予定
- 直接提携先の稼働開始により、今後も平均利用件数向上が見込まれる

セブン-イレブン以外の店舗へのATM設置も試験的に開始

AGENDA

03

**2024年3月期
業績予想修正**

2024年3月期 業績予想

2024年3月期 通期予想【連結】

経常収益

1,985億円

前年度
累計 1,549億円

前年
比 +28.1%

経常利益

255億円

前年度
累計 289億円

前年
比 △11.7%

親会社株主に帰属する 当期純利益

383億円

前年度
累計 188億円

前年
比 +103.7%

・連結業績予想は修正なし（詳細は次ページ）

2024年3月期 通期予想【セブン銀行単体】

経常収益

1,280億円

前
予 想 1,230億円

前
回 比 +4.0%

前年度
累計 1,205億円

前年
比 +6.2%

経常利益

300億円

前
予 想 260億円

前
回 比 +15.3%

前年度
累計 315億円

前年
比 △4.7%

当期純利益

205億円

前
予 想 180億円

前
回 比 +13.8%

前年度
累計 195億円

前年
比 +5.1%

・業績動向を踏まえ、セブン銀行単体業績予想を修正

2024年3月期 配当予想

年間計画

11円

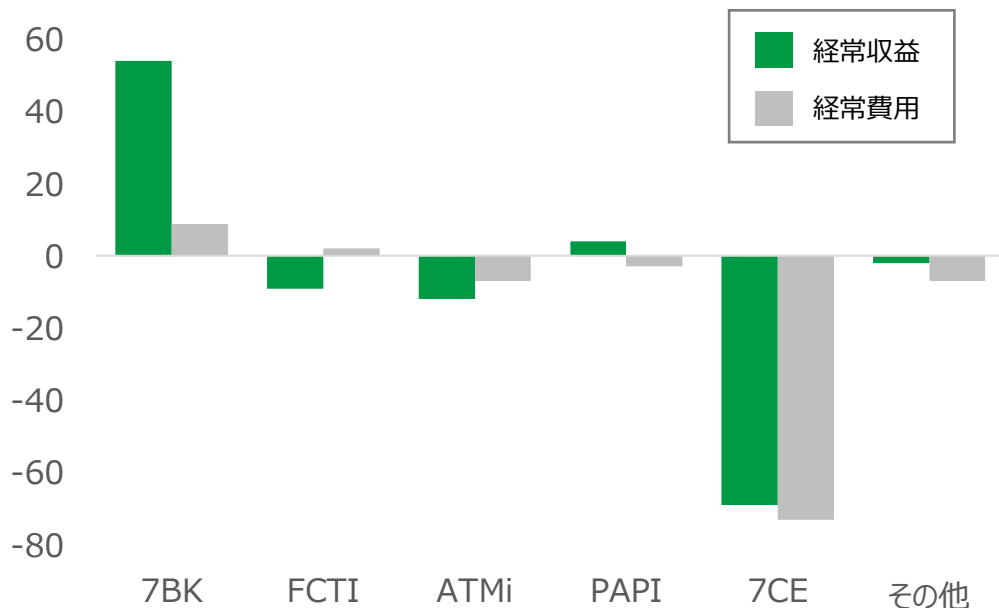
当初計画から変更なし

中間配当 1株あたり5.50円
期末配当 1株あたり5.50円

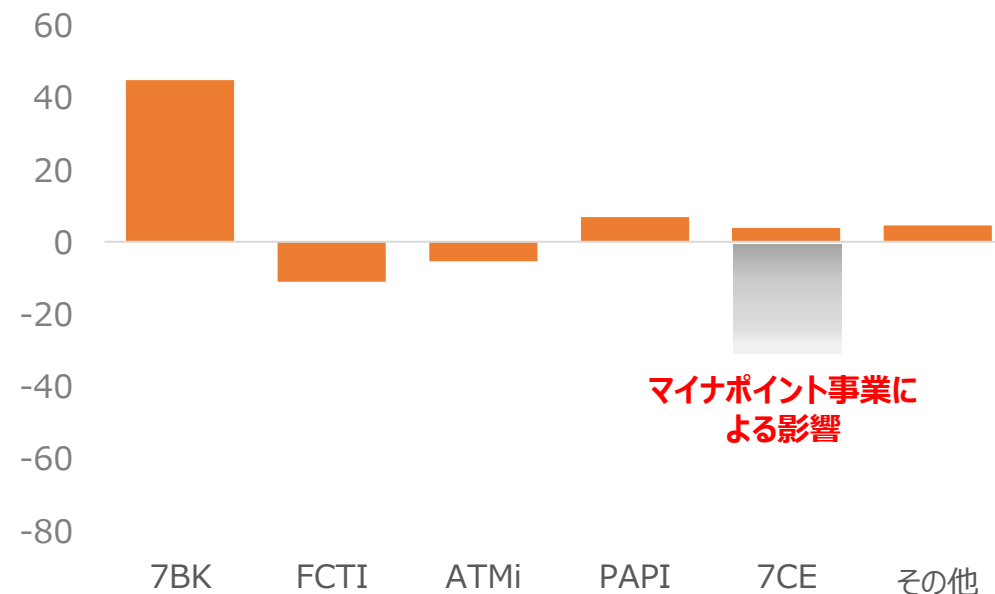
経常収益・利益ともにセブン銀行単体の上振れを打ち消す要因が発生しているため、連結業績予想は修正せず

前回計画との各社差分比較

経常収益および経常費用



経常利益



セブン銀行単体の増収を
セブン・カードサービスの減収が打ち消し

セブン・カードサービスにおいて利益のマイナスが
生じる可能性（マイナポイント事業関連）

注1) 7CEはセブン・カードサービス、「その他」に含まれる会社は、バンク・ビジネスファクトリー、セブン・ペイメントサービス、セブン・グローバルレミット、ACSiON、Credd Finance、ビバピーダメディカルライフを示す

注2) 各社の数値は概算値

AGENDA

04

**上期の振り返りと
中期経営計画の進捗**

2023年度上期は好調な着地、今後更なる成長を目指す

上期の取り組み

国内ATM事業

- 既存ATM事業好調
- 新サービス「+Connect」の提供開始
想定以上の利用あり

収益基盤強化

多角化の推進

リテール事業

- 口座・ローンは計画通り拡大
- セブン・カードサービスの連結子会社化完了
- 銀行とカード一体の活動を開始

収益基盤強化

多角化の推進

海外事業

- 米国は契約更改に向けて提案中
- インドネシアは拡大スピード鈍化も引き続き黒字確保
- フィリピンは件数好調、単月黒字化を達成

事業拡大の継続

社会課題解決への貢献

- 金融の枠を超えたサービスの創出
- 人的資本戦略の策定に着手
- 気候変動開示の実施

企業変革 (CX)

- IT部門の再編
- DMOの取り組み浸透
→データ活用前提の意識改革継続
- 非財務情報開示に向けた体制整備
→人的資本投資の開示に向けた体制整備

国内事業(ATM)

新サービス「+ Connect」（プラスコネクト）を9月26日より提供開始

+ Connect

あらゆる手続き・認証の窓口となり、人と企業/社会をつなぐ

9月26日より、第1弾サービス開始

ATM窓口



口座・アカウント
開設

住所・電話番号等の
変更受付

ATMお知らせ



継続的顧客管理
在留期限管理

住所・電話番号
不備等への対応

サービス開始時に記者会見を実施、
メディアからの反響も多数



「コンビニATM」で手続きできる
利便性が評価

提携合意先

9月26日～



静岡銀行



群馬銀行



北陸銀行



ちばぎん



福井銀行



PayPay 銀行



東日本銀行



セブン銀行



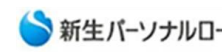
広島銀行



沖縄銀行



新生フィナンシャル



新生パーソナルローン

11月以降

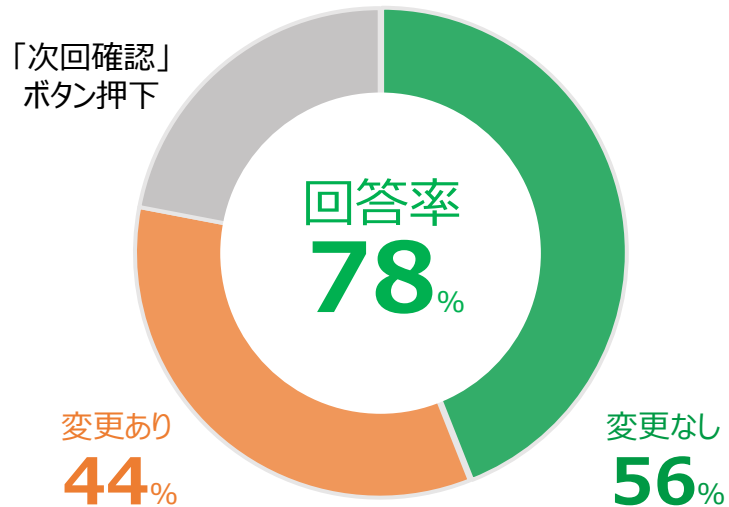
+Connect
利用状況

高い回答率、
営業時間外・若年層中心の利用

計画を上回る利用状況、
今後もサービスの認知拡大を目指す

ATMお知らせ

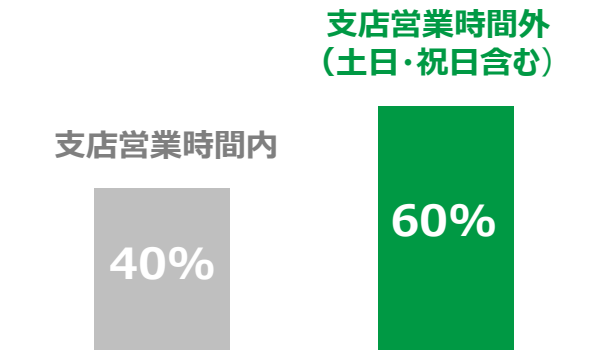
ボタン選択率



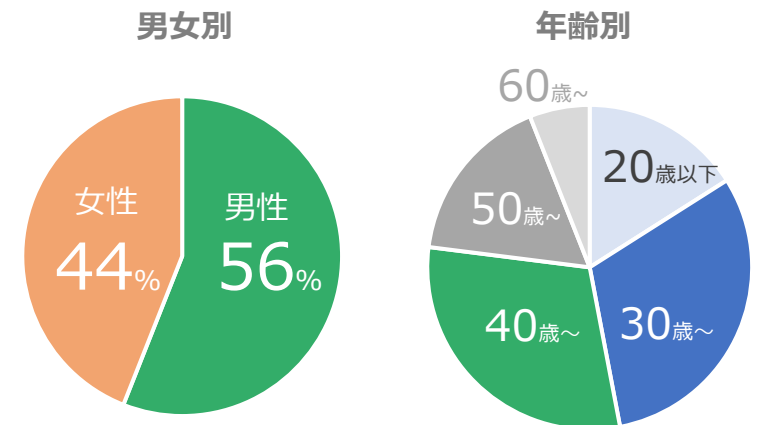
郵送・Web等に比べ
高い回答率を実現

ATM窓口

時間帯別利用状況



属性別利用状況



注) 属性別利用状況はセブン銀行口座保有者のみを対象とする

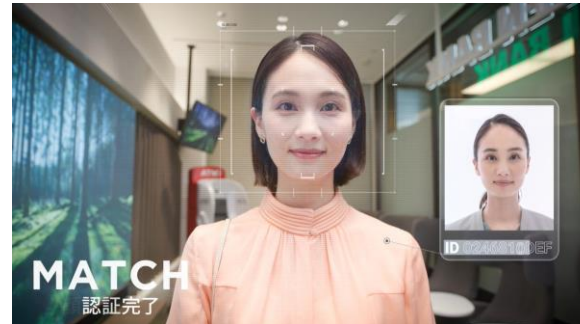
新サービスのローンチ・改善を継続、既存ビジネスの収益基盤をより強固とすべく多角化を推進する

今後のサービス追加・改善予定

■ マルチコピー機での金融機関の証明書
受取サービス (今年度中)



■ 顔認証ATMサービス(仮) (24年度以降)



国内事業（リテール）

7&iグループの力を最大限に活用、クレジットカードを軸として口座、電子マネーを含めた新金融サービスの提供を目指す

差別化ポイントの検討

7&iグループが持つ強み

商品力

顧客接点

データ

小売→新クレカ

決済サービスにおける差別化

ATMでの
即時クレカ申込

統一的な窓口となる
金融アプリ

新クレカ→小売

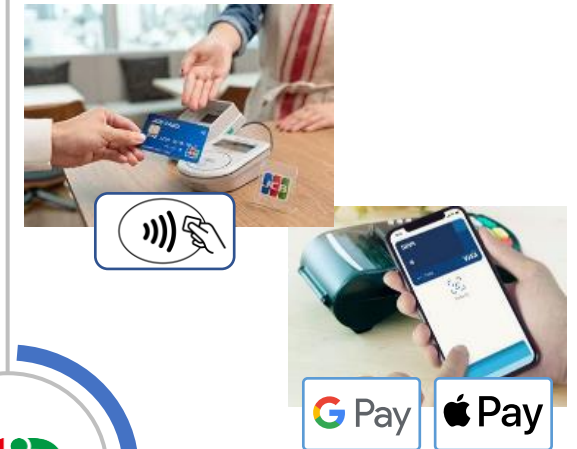
小売への貢献

ロイヤルティ向上による来店増

最短30分でモバイルクレカ
アプリ/お店のATMでかんたんに作成



nanaco同様『ピピッ』とかんたん決済
お買い物体験をスムーズに



新クレカ限定特典クーポン
7&i商品をもっと好きに

金融の窓口は1つで迷わない
事業会社アプリ連携もシームレスに

グループのお客さまにご利用いただける金融サービスの提供に向け、グループ資産を活用し、銀行とカードが一体となり活動を推進

STEP 1 金融サービス提供に向けた体制の一本化、既存商品の強化

- セブン・カードサービス(7CE) 連結子会社化・社長交代 (11月)
- 事業会社とのアプリマーケティング強化、銀行×カードのクロスセル開始
- セブン銀行デビットカードのデザイン変更、タッチ決済対応開始(11月)
- セブン・カードプラス(JCB)のタッチ決済対応開始 (24年2月予定)
- 7iD連携の開始 (24年2月予定)
- 新カードの要件定義着手



STEP 2 グループ向け施策の強化・深化 データを活用した顧客基盤拡大

- nanacoモバイルの強化
- さらなるAIの活用による、顧客のニーズ検知強化等

小売×金融一体型の新しい顧客体験の提供へ

2025年度末

口座数 500万口座
ローン残高 800億円
カード会員数 700万人
キャッシング残高 300億円

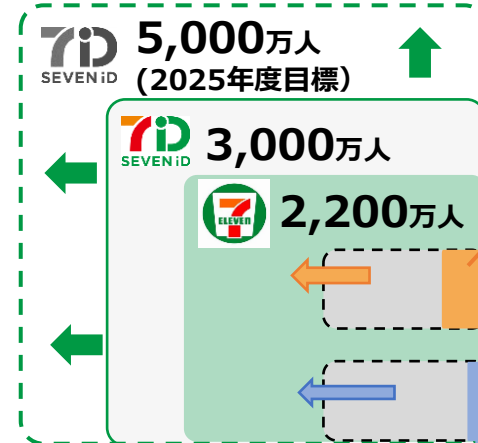
2022年度末

口座数 275万口座
ローン残高 351億円
カード会員数 361万人
キャッシング残高 108億円

2023年度末

口座数 304万口座
ローン残高 440億円
カード会員数 355万人
キャッシング残高 104億円

7iD会員とセブン-イレブンアプリ、セブン銀行口座保有者、セブンカード会員の状況



口座保有者のうち7iD保有顧客

口座保有者数 287万人
クレカ契約数 357万人

契約者のうち7iD連携顧客 37

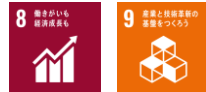
社会課題解決への貢献・企業変革

5つの重点課題

1. 安心・安全な決済インフラの提供



2. 新しい金融サービスを通じた生活創造



3. 誰もが活躍できる社会づくり



4. 環境負荷の低減



5. 多文化共生の実現



従来の金融の枠を超えた新しいサービスの提供と利便性の向上

- ◆ 選択可能な募金先の拡大
(1先→ユニセフなど4団体を新規追加)
- ◆ NFT募金キャンペーン実施
(ATM募金実施でNFTアートをプレゼント)



ATM画面イメージ

人的資本への対応

- ◆ 自己啓発活動の促進
- ◆ マネジメント層研修体系整備



社内ライブラリ「せぶんこ」

[\(詳細は次ページ\)](#)

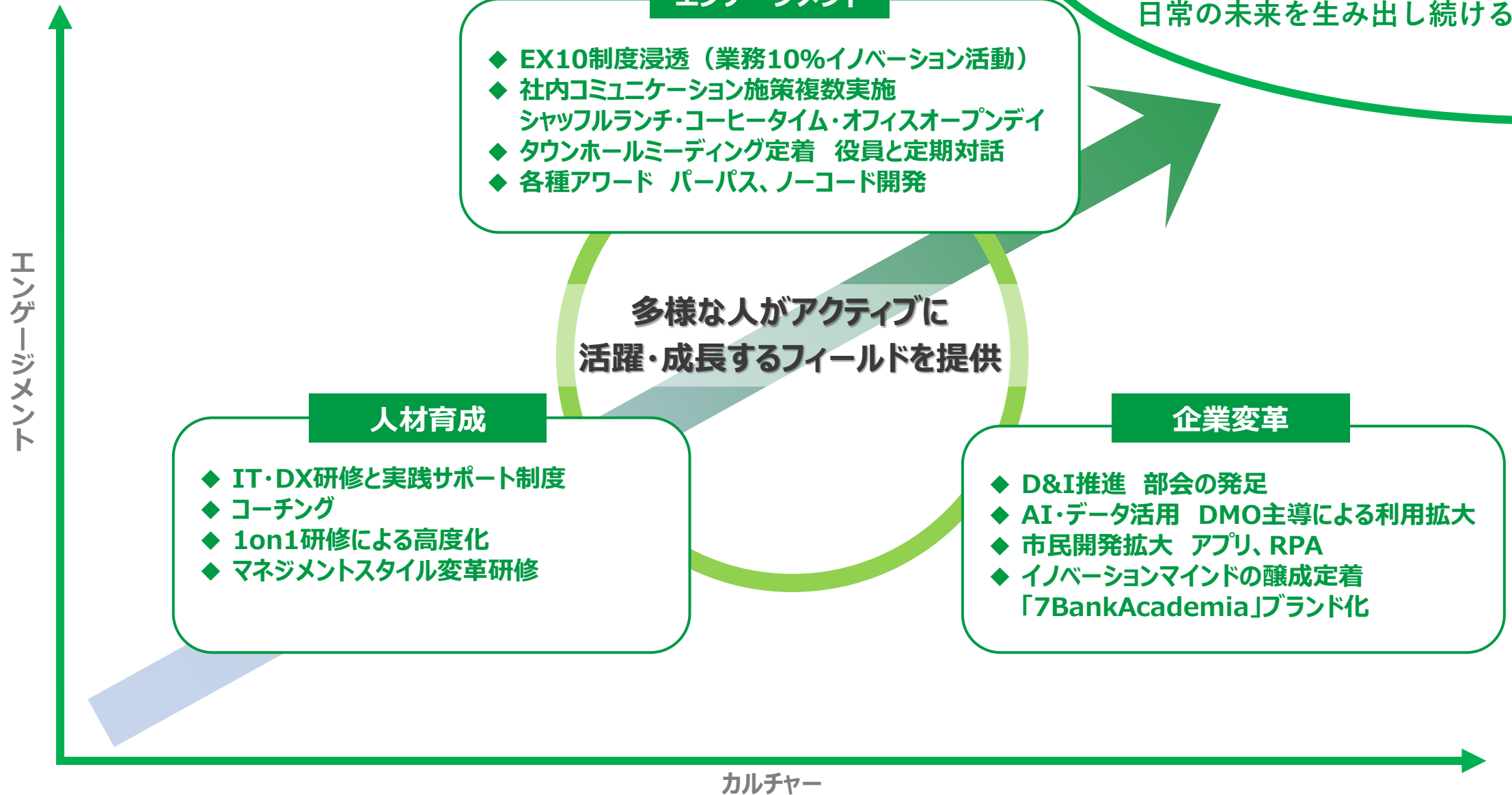
気候変動への対応

- ◆ TCFDシナリオ分析開示実施
(有報、統合報告書に掲載)
- ◆ 社員による環境保全活動
(滋賀の森/琵琶湖清掃活動 等)



琵琶湖清掃活動の様子

社員も会社も持続的に成長していきパーパス経営を深化



AGENDA

05

APPENDIX

APPENDIX

損益計算書【連結】

(単位：億円)

	2023年3月期		2024年3月期			
	実績		上期実績	計画		通期
	上期	通期		前年差異	計画差異	
経常収益	738	1,549	922	184	37	1,985
経常費用	593	1,260	758	165	△7	1,730
経常利益	145	289	164	19	44	255
親会社株主に帰属する 純利益	97	188	326	229	33	383
EBITDA	238	484	273	35	—	—

注1) 本資料における計数は全て表示単位未満切捨て

注2) 本資料における前年差異は全て表示単位で比較

注3) 連結損益の為替レート

1米ドル 2023年3月期 上期実績 = 123.14円、2024年3月期 上期実績 = 135.00円、2024年3月期計画 = 140.00円

APPENDIX 損益計算書【セブン銀行単体】	2023年3月期		2024年3月期			
	実績		上期実績			計画
	上期	通期		前年差異	計画差異	通期
経常収益	586	1,205	640	54	35	1,280
うちATM受入手数料	512	1,040	554	42	29	1,105
経常費用	433	890	471	38	1	980
うち資金調達費用	2	4	1	△1	0	3
うちATM設置支払手数料	85	172	87	2	△3	180
うち業務委託費	111	224	123	12	3	260
うち保守管理費	18	36	18	0	△2	40
うち減価償却費	82	168	89	7	△9	195
経常利益	152	315	169	17	34	300
特別損益	△4	△22	△2	2	△2	△5
法人税等合計	47	97	52	5	12	90
純利益	100	195	114	14	19	205
EBITDA	234	483	258	24	26	495
期末ATM設置台数（台）	26,525	26,913	27,099	574	△49	27,334
ATM受入手数料単価（円）	109.0	108.3	110.0	1.0	0.8	109.9
平均利用件数（件/台/日）	99.7	101.5	104.7	5.0	5.6	103.8
総利用件数（百万件）	479	980	515	36	26	1,030
海外送金サービス取引件数（千件）	459	944	445	△14	-	1,171
デビットサービス取引件数（千件）	9,608	19,389	10,178	570	-	20,905

(単位：百万米\$)

APPENDIX 損益計算書【FCTI単体】	2022年12月期		2023年12月期			
	実績		上期実績 (1-6月)	前年差異		計画
	上期	通期		前年差異	計画差異	通期
経常収益	92.1	186.3	94.8	2.7	△3.5	190.6
経常費用	90.9	189.6	99.8	8.9	△2.4	201.2
うち資金調達費用	8.8	29.4	21.9	13.1	1.5	44.6
うちATM設置支払手数料	50.9	100.1	42.8	△8.1	△3.4	84.9
うち業務委託費	6.4	12.2	7.8	1.4	△0.4	15.7
うち保守管理費	7.7	15.9	8.2	0.5	0.8	16.9
うち減価償却費	3.2	6.6	2.9	△0.3	0	5.9
経常利益	1.1	△3.3	△5.0	△6.1	△1.1	△10.6
特別損益	△0.0	0	0	0	0	0
純利益	0.9	0.0	△4.5	△5.4	△0.5	△10.0
EBITDA	4.4	3.2	△2.0	△6.4	△1.0	△4.7
期末ATM設置台数（台）	8,692	8,643	8,632	△60	△112	8,640
平均利用件数（件/台/日）	51.2	50.3	50.0	△1.2	0.5	49.7
総利用件数（百万件）	78.6	159.7	78.0	△0.6	△0.2	156.8

注1) 本資料における計数は全て表示単位未満切捨て

注2) 本資料における前年差異は全て表示単位で比較

注3) 本資料におけるEBITDAは全て経常利益+減価償却費

APPENDIX

損益計算書【主要子会社】

(単位：百万円)



	2023年3月期		2024年3月期			
	実績		上期実績	計画		通期
	上期	通期		前年差異	計画差異	
経常収益	1,337	3,162	1,664	327	106	3,590
経常費用	1,506	3,304	1,631	125	△66	3,510
経常利益	△169	△142	33	202	172	80
純利益	△113	△445	310	423	-	-

(単位：百万円)



	2023年3月期		2024年3月期			
	実績		上期実績	計画		通期
	上期	通期		前年差異	計画差異	
経常収益	243	546	314	71	△8	655
経常費用	204	443	277	73	△12	574
経常利益	38	103	36	△2	3	81
純利益	32	86	30	△2	-	-

注1) 本資料における計数は全て表示単位未満切捨て

注2) 本資料における前年差異は全て表示単位で比較

APPENDIX

(単位：百万円)

損益計算書【主要子会社】



	2022年12月期		2023年12月期			
	実績		上期実績 (1月~6月)	計画		通期
	上期	通期		前年差異	計画差異	
経常収益	1,706	4,255	3,053	1,347	△436	6,836
経常費用	1,363	3,538	2,714	1,351	△293	6,011
経常利益	343	716	339	△4	△143	825
純利益	343	554	338	△5	-	-

(単位：百万円)



	2022年12月期		2023年12月期			
	実績		上期実績 (1月~6月)	計画		通期
	上期	通期		前年差異	計画差異	
経常収益	1,127	2,549	2,132	1,005	251	4,897
経常費用	1,147	3,097	2,570	1,423	169	5,100
経常利益	△20	△548	△438	△418	82	△203
純利益	△21	△466	△455	△434	-	-

注1) 為替レート

100インドネシアルピア 2022年12月期上期実績=0.852円、2023年12月期上期実績=0.897円
 1フィリピンペソ 2022年12月期上期実績=2.358円、2023年12月期上期実績=2.442円

注2) 本資料における前年差異及び前年比は全て表示単位で比較

APPENDIX

損益計算書【セブン・カードサービス】

(単位：百万円)

	2022年	2024年3月期	
	実績	2Q実績 (7-9月)	前年差異
	7-9月		
経常収益	8,293	8,284	△9
うちクレジットカード事業	4,053	4,075	22
うち電子マネー事業	4,240	4,208	△32
経常費用	7,594	7,557	△37
うちクレジットカード事業	3,951	3,590	△361
うち電子マネー事業	3,643	3,967	324
経常利益	699	726	27
純利益	484	511	27

注1) 本資料における計数は全て表示単位未満切捨て

注2) 本資料における前年差異は全て表示単位で比較

注3) セブン・カードサービスの業績は、当社連結子会社後の7～9月の業績を記載

注4) セブン・カードサービスの計画値は、当社連結子会社後の計上分となる2023年7月～2024年3月分の値



本資料には、株式会社セブン銀行及びその連結子会社等の業績に関連する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述が含まれています。これらは、具体的な歴史的事実を除き、本資料の作成時点において取得可能な情報に基づく予測等を基礎として記載されています。これらの記述のためには、一定の前提（仮定）を置いています。これらの記述及び前提（仮定）は主観的なものであり、かつ、様々なリスクや不確実性が内在しております。かかるリスク及び不確実性により、実際の業績等はこれらの見通しや予想等とは異なる結果となる可能性があります。かかるリスク及び不確実性には、システム障害、災害、犯罪、その他事業を取り巻く様々なリスクが含まれますが、これらに限定されるものではありません。また、本資料に含まれる当社及びその連結子会社等以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。なお、本資料に関する全ての著作権その他の権利は当社に属します。